



平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月29日

上場取引所 東 大 名 札 福

上場会社名 新日本石油株式会社
コード番号 5001 URL <http://www.eneos.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 進路

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理第1本部IR部IRグループ マネージャー (氏名) 四谷 九吾

TEL 03-3502-1184

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月8日

百万円未満の端数は切り捨てております。

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	4,283,629	—	86,451	—	58,156	—	20,166	—
20年3月期第2四半期	3,335,776	4.3	142,723	24.3	159,152	20.6	84,826	32.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	13.81	—
20年3月期第2四半期	58.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	5,139,264	—	1,390,906	—	24.9	—	877.48	
20年3月期	4,594,197	—	1,429,266	—	28.5	—	896.06	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 1,279,262百万円 20年3月期 1,309,787百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,850,000	17.6	△12,000	—	5,000	△98.2	△23,000	—	△15.78

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 1,464,508,343株 20年3月期 1,464,508,343株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 6,620,039株 20年3月期 2,788,574株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 1,460,705,228株 20年3月期第2四半期 1,461,416,587株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績につきましては、さまざまな要素により、予想数値と大きく異なる場合があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

なお、上記業績予想の前提となる仮定等につきましては、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,090,000	20.6	△ 149,000	—	△ 142,000	—	△ 96,000	—	△ 65.63

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）における石油製品等の販売状況につきましては、原子力発電の稼働減等に伴う電力用C重油の需要増に加えて、輸出が好調に推移いたしました。燃料転換の進展等の影響を受けて、産業用燃料を中心に需要が減少いたしました。この結果、他石油会社との相互融通取引等を除いた販売数量は3,265万KL（前年同期比0.4%減）となりました。

連結業績につきましては、売上高4兆2,836億円（前年同期比28.4%増）、営業利益865億円（前年同期比562億円の減益）、経常利益582億円（前年同期比1,010億円の減益）でありました。これは石油製品及び石油化学製品の販売数量が減少したことに加え、原油価格の上昇に伴う自家使用燃料代の悪化、石油化学製品マージンの圧縮などによるものです。

なお、在庫影響を除いた経常利益は△209億円（前年同期比1,029億円の減益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5兆1,393億円となり、前期末に比べ5,451億円増加いたしました。これは、原油価格の上昇によりたな卸資産が大幅に増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1兆3,909億円となり、前期末に比べ384億円減少いたしました。これは、株価の下落に伴うその他有価証券評価差額金の減少額が当第2四半期純利益等の増加額を上回ったためであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の有利子負債残高は1兆8,451億円となり、前期末に比べ5,135億円増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は24.9%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

前回（平成21年3月期第1四半期決算公表時）予想に比べ、原油代が低水準で推移していることなどを踏まえ、通期の業績見通しを修正いたします。なお、本見通しは、通期（平均）：原油代97.8ドル/バレル、為替レート105.3円/ドルを前提としております。

（前回公表時：原油代111.8ドル/バレル、為替レート104.7円/ドル）

売上高は、8兆8,500億円（前回予想比0.8%減）となる見通しであります。原油価格の下落に伴う在庫影響の悪化等により、営業利益△120億円（前回予想比2,090億円の減益）、経常利益50億円（前回予想比1,950億円の減益）、当期純利益△230億円（前回予想比1,180億円の減益）となる見通しです。

なお、配当につきましては、前回予想〔年間配当20円/株（中間配当10円/株、期末配当10円/株）〕を変更する予定はありません。

通期 連結業績予想 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回修正予想 (A)	8,850,000	△12,000	5,000	△23,000
前回発表予想 (B)	8,920,000	197,000	200,000	95,000
増減額 (A-B)	△70,000	△209,000	△195,000	△118,000
増減率 (%)	△0.8%	—	△97.5%	—

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(ア) 簡便な会計処理

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(イ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、石油精製・販売、建設及びその他事業部門において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(ア) 会計処理基準に関する事項の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ110,568百万円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	281,317	228,907
受取手形及び売掛金	933,334	901,675
たな卸資産	1,448,822	1,157,959
その他	232,701	198,982
流動資産合計	2,896,176	2,487,526
固定資産		
有形固定資産		
土地	668,157	648,325
その他(純額)	730,429	657,535
有形固定資産合計	1,398,586	1,305,860
無形固定資産	48,887	36,260
投資その他の資産	795,606	764,541
固定資産合計	2,243,080	2,106,662
繰延資産	7	9
資産合計	5,139,264	4,594,197
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	646,806	672,950
短期借入金	521,344	362,523
コマーシャル・ペーパー	557,000	428,000
未払法人税等	39,182	64,166
引当金	4,183	7,018
その他	817,218	723,470
流動負債合計	2,585,735	2,258,130
固定負債		
社債	205,043	135,047
長期借入金	586,673	411,035
退職給付引当金	61,556	64,076
その他の引当金	75,514	71,048
その他	233,835	225,593
固定負債合計	1,162,622	906,800
負債合計	3,748,358	3,164,930

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,437	139,437
資本剰余金	275,748	275,782
利益剰余金	793,748	782,037
自己株式	△4,827	△2,595
株主資本合計	1,204,106	1,194,662
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,815	85,725
繰延ヘッジ損益	9,620	18,355
為替換算調整勘定	3,720	11,045
評価・換算差額等合計	75,155	115,125
少数株主持分	111,644	119,478
純資産合計	1,390,906	1,429,266
負債純資産合計	5,139,264	4,594,197

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	4,283,629
売上原価	4,056,773
売上総利益	226,856
販売費及び一般管理費	140,405
営業利益	86,451
営業外収益	
受取利息及び配当金	20,421
受取賃貸料	3,639
持分法による投資利益	2,262
その他	5,344
営業外収益合計	31,667
営業外費用	
支払利息	14,789
為替差損	425
デリバティブ評価損	37,767
その他	6,979
営業外費用合計	59,962
経常利益	58,156
特別利益	
固定資産売却益	2,382
その他	215
特別利益合計	2,597
特別損失	
固定資産除売却損	5,187
減損損失	6,507
その他	5,308
特別損失合計	17,003
税金等調整前四半期純利益	43,750
法人税等	20,652
少数株主利益	2,930
四半期純利益	20,166

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

期 別 項 目	当第2四半期連結会計期間末	前連結会計年度末
	(平成20年9月30日現在)	(平成20年3月31日現在)
	百万円	百万円
商 品 及 び 製 品	622,304	447,024
仕 掛 品	111,215	94,713
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	715,302	616,221
減 価 償 却 累 計 額	2,229,572	2,068,553
貸 倒 引 当 金	9,265	9,635

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額

期 別 項 目	当第2四半期連結累計期間
	(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
	百万円
運 賃 諸 掛	52,335
人 件 費	33,001

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考情報」

前第2四半期連結累計期間にかかる財務諸表

(要約) 前四半期連結損益計算書

科 目	期 別	前第2四半期連結累計期間 〔 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日 〕
	金 額	
		百万円
売 上 高		3,335,776
売 上 原 価		3,058,250
売 上 総 利 益		277,525
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		134,801
営 業 利 益		142,723
営 業 外 収 益		36,300
受 取 利 息 及 び 配 当 金	(16,433)
受 取 賃 貸 料	(4,993)
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	(1,456)
為 替 差 益	(5,954)
そ の 他	(7,463)
営 業 外 費 用		19,870
支 払 利 息	(13,380)
そ の 他	(6,490)
経 常 利 益		159,152
特 別 利 益		9,952
固 定 資 産 売 却 益	(9,063)
そ の 他	(888)
特 別 損 失		13,729
固 定 資 産 除 売 却 損	(5,078)
減 損 損 失	(7,210)
そ の 他	(1,440)
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益		155,376
法 人 税 等		64,485
少 数 株 主 利 益		6,063
四 半 期 純 利 益		84,826